

民博と科博が“ビーズを魅せる”コラボレーション

国立民族学博物館・国立科学博物館 共同企画展



自然をつなぐ 世界をつなぐ

Special Exhibition co-organized by National Museum of Ethnology,  
and National Museum of Nature and Science

Beads in the World:  
Connecting People with Nature

2019年  
**4/9** (火) — **6/16** (日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)  
日本館1階企画展示室

開館時間 / 午前9時～午後5時(金曜・土曜日は午後8時まで)  
※金曜・土曜日及び4月28日(日)～5月5日(日・祝)は午後8時まで  
※5月6日(月・休)は午後6時まで ※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日 / 月曜日、5月7日(火)  
(ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)、6月10日(月)は開館)

入館料 / 一般・大学生620円(団体500円)  
高校生以下および65歳以上無料  
(常設展示入館料のみでご覧いただけます。)

主催 / 国立民族学博物館、国立科学博物館



自然をつなぐ 世界をつなぐ

Special Exhibition co-organized by National Museum of Ethnology,  
and National Museum of Nature and Science

Beads in the World:  
Connecting People with Nature

人やものを飾るだけではなく、さまざまな目的のために、多様な素材を使って作られてきたビーズ (Beads)。私たちは、およそ10万年もの間、何のために、どのような素材や技術を用いてビーズを作ってきたのでしょうか。

民博と科博。それぞれの専門分野である民族学、自然科学の視点からビーズを眺め、双方の知見を合わせることで、ビーズと人類とのかかわり方を紹介します。

1 ビーズとは

ビーズ (Beads) は、さまざまな部材をつなげたものと定義します。ビーズに用いられる素材はさまざまで、それぞれが持つ性質はビーズの役割に大きな影響を与えています。ビーズの持つ性質を考えると、素材について考えることが重要です。

3 動物のビーズ

動物を材料としたビーズでは、虫・鳥・魚・爬虫類・ヒトを含む哺乳類など、素材となる生き物の対象が多様である点、部位をそのまま使う場合と加工する場合がある点などの特徴があります。私たち人類は、入手の困難さ、穴をあけるための労力などを考慮して、動物の部位をビーズに利用してきました。

5 石のビーズ

石のビーズに用いられる素材もさまざまです。代表的な素材としては、ヒスイ、メノウ、トルコ石、ラピスラズリなどが挙げられます。石の場合には、素材の産地が偏在している点や、素材の獲得や穴をあけるために特別な技術が必要であるという点に特徴があります。

7 ガラスのビーズ

さまざまな色のガラスが、単色の玉やトンボ玉など多様なガラスビーズに利用されました。ガラスビーズの交易品としての価値は大きく、17世紀以降、世界の諸地域をつなぎました。日本列島でも紀元前に海外からもたらされ、その後国内で作られるようになり、その価値は大きいものでした。  
(ガラス勾玉：春日市奴国の丘歴史資料館蔵)

2 植物のビーズ

植物のビーズには、草や木の実、種子、花、葉などさまざまな部位が使われてきました。植物では、部位をそのまま使うことができる点、すでに穴があいているものもある点、匂いを持つ点など、他の素材とは異なる特徴があります。私たち人類は、色や形、加工しやすさなどを考慮して、植物の部位をビーズに利用してきました。

4 貝のビーズ

貝製のビーズの作製には、さまざまな種類の貝が使われてきました。海や陸の巻貝が中心ですが、ビーズの部材としては二枚貝も使われました。貝の場合には、大量に同じ大きさや形のをそろえることができる点、持ち運びに便利であることから交易を通して遠方に運ばれてきたという点に特徴があります。

6 金属のビーズ

金、銀、銅、鉄など、さまざまな種類の金属もビーズの素材として使われてきました。鉱石から金属を生産してビーズへ加工するためには、いくつもの特別な技術が必要となります。このため、鉄製ビーズの場合などでは、製作する職人と利用者との間の交易が発達してきます。

8 21世紀のビーズ

21世紀に入り、紙やコットンパールといった新たな素材や、ワイヤーアートやビーズ織りといった技法を用いたビーズが生まれています。10万年の間、自然と人をつないできたビーズは、今後ますます多様化していくでしょう。そのとき私たちとビーズのかかわりはどのように変化していくのでしょうか。

講演会 【会場】日本館2階講堂 【時間】14:00~16:00

4月27日(土) 【事前申込制】  
企画展『ビーズ—自然をつなぐ、世界をつなぐ—』  
民博 vs. 科博講演会

※講演会、ギャラリートークの詳細はホームページをご覧ください。  
<http://www.kahaku.go.jp/>

交通ガイド

- JR  
「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線  
「上野駅」から徒歩10分
- 京成電鉄  
「京成上野駅」から徒歩10分

※当館には駐車場および駐輪場はございません。

